CQ・ステートメント・推奨グレード一覧

	_	
1	章	糖尿病診断の指針

※CQ なし

2章 糖尿病治療の目標と指針

※CQ なし

3章 食事療法

羊 及于原 丛
CQ3-1:糖尿病の血糖コントロールのために食事療法を推奨すべきか?
●1 型糖尿病および 2 型糖尿病の血糖コントロールのために食事療法が推奨される.
CQ3-2:糖尿病の血糖コントロールのためにエネルギー摂取量の制限を推奨すべきか?
●過体重・肥満を伴う2型糖尿病の血糖コントロールのためにエネルギー摂取量の制限が推 奨される.
····································
CQ3-3:糖尿病の血糖コントロールのために炭水化物制限は有効か?
●2型糖尿病の血糖コントロールのために、6~12ヵ月以内の短期間であれば炭水化物制限
は有効である.
CQ3-4:糖尿病の血糖コントロールのためにカーボカウントは有効か?
●1 型糖尿病の血糖コントロールに応用カーボカウントは有効である.
CQ3-5:糖尿病の血糖コントロールのために低 GI 食は有効か?
●2 型糖尿病の血糖コントロールのために低 GI 食は有効である.
CQ3-6:糖尿病の血糖コントロールのために食物繊維摂取は有効か?
●2型糖尿病の血糖コントロールのために積極的な食物繊維摂取は有効である.

4章 運動療法 CQ4-1:糖尿病の管理に運動療法は有効か? ●2型糖尿病の血糖コントロールに、有酸素運動、レジスタンス運動が推奨される。 21型糖尿病の血糖コントロールに運動療法が有効かどうかは一定の見解が得られていない。 ❸運動療法は、1型・2型糖尿病にかかわらず、心血管疾患のリスクファクターを改善させ、 特に有酸素運動は心肺機能を、レジスタンス運動は骨格筋量、筋力を向上させるため推奨 される. 5章 血糖降下薬による治療(インスリンを除く) ※CQ なし 6章 インスリンによる治療 CQ6-5:1型糖尿病に対する強化インスリン療法は細小血管症の発症・進行抑制に有効か? ■1 型糖尿病に対する強化インスリン療法は、細小血管症(網膜症、腎症、神経障害)の発症 予防や進行抑制に有効であることから推奨される. CQ6-6:1型糖尿病に対する強化インスリン療法は大血管症の発症予防に有効か? ●1 型糖尿病に対する強化インスリン療法は,大血管症の発症予防に有効であることから推 奨される. CQ6-8:2型糖尿病に対する強化インスリン療法は細小血管症の発症・進行抑制に有効か? ●2 型糖尿病に対する強化インスリン療法は細小血管症(網膜症、腎症、神経障害)の発症・ 進行抑制に有効である. 7章 糖尿病の自己管理教育と治療支援 CQ7-1:組織化された糖尿病自己管理教育と治療支援は糖尿病治療に有効か? ●糖尿病自己管理教育と治療支援は糖尿病治療に有効であることから推奨される. CQ7-2:集団教育と個別教育は糖尿病治療に有効か? ●集団教育と個別教育はどちらも糖尿病治療に有効である.

CQ7-3:皿糖目己測定 (SMBG) は糖尿病治療に有効か?
●血糖自己測定(SMBG)は 1 型糖尿病およびインスリン療法中の 2 型糖尿病の血糖コント
ロールに有効であることから推奨される.
····································
②インスリンを使用していない2型糖尿病患者においては、SMBGの血糖改善効果について
一定の見解が得られていない.
····································
CQ7-4: CGM (continuous glucose monitoring) はどのような点で糖尿病治療に有効か?
●リアルタイム CGM(rtCGM)は小児・思春期 1 型糖尿病ならびに成人 1 型糖尿病患者に
おいて低血糖頻度の低下や血糖改善効果を有する.
②rtCGM により、1型糖尿病合併妊娠において、血糖コントロールを改善させ、周産期異常
を減少させることから有効である.
3間歇スキャン式持続グルコース測定 (intermittently scanned CGM: isCGM) は 1型な
らびに2型糖尿病においてSMBGよりも血糖コントロール改善に寄与し得る.
CQ7-6: 心理的・行動科学的アプローチは糖尿病治療に有効か?
●心理的・行動科学的アプローチは 2 型糖尿病の HbA1c の改善に寄与し得る.
····································
②心理的・行動科学的アプローチの1型糖尿病患者への血糖改善効果は不定である.
····································
8章 糖尿病網膜症
CQ8-1:定期的な眼科受診によって糖尿病網膜症の発症・進行を抑制できるか?
●糖尿病網膜症の発症・進行を阻止するうえで定期的な眼科受診が推奨される.
CQ8-2:血糖コントロールは糖尿病網膜症の発症・進行抑制に有効か?
●1 型糖尿病,2 型糖尿病患者における糖尿病網膜症の発症・進行を抑制するうえで血糖コ
ントロールが推奨される.
····································
CQ8-3:血圧コントロールは糖尿病網膜症の発症・進行抑制に有効か?
●2 型糖尿病患者の糖尿病網膜症の発症・進行を抑制するうえで血圧コントロールが推奨さ
れる.
CQ8-4:脂質コントロールは糖尿病網膜症の発症・進行抑制に有効か?
●脂質異常症を合併した 2 型糖尿病患者におけるフェノフィブラートは糖尿病網膜症の進行
抑制に有効である可能性がある.
····································

CQ8-6:網膜症に手術や光凝固などの眼科的治療は有効か?	
●進行した網膜症の進行阻止に手術や光凝固術などの眼科的治療が推奨される。	
	グレード A]
9 章 糖尿病性腎症	
CQ9-2:タンパク質の摂取制限は糖尿病性腎症の進行抑制に有効か?	
●顕性アルブミン尿期以降において、その進行抑制に対して、栄養障害のリス	クのないタン
パク質摂取制限は有効である可能性があるが、臨床的エビデンスは十分では	ない.
	グレード U]
CQ9-3:RAAS 阻害薬は腎症の発症・進行抑制に有効か?	
●アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬とアンジオテンシンⅡ受容体拮抗	薬 (ARB) は,
アルブミン尿を有する腎症の進行抑制に有効であるため推奨される.	
	グレード A]
❷ACE 阻害薬あるいは ARB による治療中でアルブミン尿を有する糖尿病患者	において, 非
ステロイド型ミネラルコルチコイド受容体(MR)拮抗薬(フィネレノン)は,	腎症の進行抑
制に寄与し得る.	
	グレード B]
CQ9-4:SGLT2 阻害薬は腎症の進行抑制に有効か?	
●アルブミン尿を有する 2 型糖尿病患者の腎症の進行抑制に SGLT2 阻害薬が打	隹奨される.
	グレード A]
CQ9-5: GLP-1 受容体作動薬は腎症の進行抑制に有効か?	
●2 型糖尿病患者の腎症の進行抑制に GLP-1 受容体作動薬は有効である.	48. 49.53
	グレードB」
10 亲 糖尿病性神经障害	
10章 糖尿病性神経障害 CQ10-4:血糖コントロールは糖尿病性神経障害の発症・進行抑制に有効か?	
●糖尿病性神経障害の発症・進行抑制に厳格な血糖コントロールが推奨される。	
● 僧成例は神経障害の光症・進行抑制に厳格な血能コンドロールが推奨される。	
上推奖) V – F AJ
11 章 糖尿病性足病変	
CQ11-2:糖尿病患者へ集学的フットケアを行うことは、足病変の発症・進行抑	制と重症化予
防に有効か?	
●糖尿病患者の足病変の発症および重症化予防のため集学的フットケアが推奨	される.
「推奨	
CQ11-4:血糖コントロールは足病変の発症予防や足潰瘍の治療に有効か?	
●足潰瘍の発症予防と治療に血糖コントロールが推奨される.	
	グレード A]

CQ11-5:足潰瘍の治療に医療チームによる集約的治療は有効か?	
●足潰瘍の治療に医療チームによる集約的治療が推奨される.	
	…[推奨グレード A]
CQ11-6:足潰瘍治療は患者の生活の質(QOL)維持に有効か?	
●足潰瘍の治療は患者の生活の質(QOL)の維持に寄与し得る.	
	···「推奨グレード B]
12章 糖尿病性大血管症	
	に有効か?
●耐糖能障害, 高血圧症, 脂質異常症, 肥満症, 慢性腎臓病などの疾	
取過剰、喫煙などの生活習慣が心血管イベントのリスクファクター	
おける生活習慣と肥満の改善は主要心血管イベントのリスクファク	ソーで軽減するため推
奨される.	[][[][][][][][][][][][][][][][][][][][
	··· [推奨グレード A]
CQ12-4:大血管症に血糖コントロールは有効か?	
●大血管症の発症抑制に糖尿病発症早期からの良好な血糖コントロー	
	…[推奨グレード A]
CQ12-5: SGLT2 阻害薬は大血管症の抑制に有効か?	
●大血管症の二次予防に SGLT2 阻害薬が推奨される.	
	…[推奨グレード A]
CQ12-6: SGLT2 阻害薬は心不全に有効か?	
●心不全の進行予防に SGLT2 阻害薬が推奨される.	
	··· [推奨グレード A]
CQ12-7: GLP-1 受容体作動薬 (GLP-1RA) は大血管症の進行抑制に有	効か?
●大血管症の進行抑制に GLP-1RA が推奨される.	
	··· [推奨グレード A]
CQ12-8: 大血管症に血圧コントロールは有効か?	
●大血管症の抑制に血圧コントロールが推奨される.	
●八皿品産の時間に皿圧コントロールの温楽される。	…「堆将グレード Δ]
CQ12-9: 大血管症に脂質コントロールは有効か?	日本人ノレートバ
●大血管症の一次・二次予防にLDL-C低下療法が推奨される.	
●人皿官症の一次・二人 予例に LDL-C 医下療法が推奨される.	[## 45 1 1 1 7]
②高 TG 血症または低 HDL-C 血症を合併する糖尿病患者において、フ	/イノフート糸楽・EPA
の投与は,心血管疾患の発症抑制に寄与し得る.	514.1-1.2
	推奨グレード B]
CQ12-10: 大血管症に抗血小板薬は有効か?	
●大血管症の二次予防にアスピリンの投与が推奨される.	
	··· [推奨グレード A]

13章 肥満を伴う糖尿病(メタホリックシンドローム、脂肪肝・脂肪肝炎を含む
CQ13-2:肥満2型糖尿病への行動療法は減量や血糖コントロールに有効か? ●肥満2型糖尿病に対する行動療法は、短期的には減量や血糖コントロールに有効であり 慮してよい。
應∪ C るい.
CQ13-4:外科療法は高度肥満症を伴う2型糖尿病への治療に有効か?
●減量・代謝改善手術は、手術前後における適切なサポート体制と安全性が確保されれる
●減重・代謝以番子削は、子削前後にのける適切なりボート体制と女主性が確保されれば 量に難渋する高度肥満を伴う2型糖尿病患者の血糖コントロール、体重、および死亡を
重に無次する同反配荷で作りて空橋水病志者の皿帽コンドロール、体重、のより光にでむ予後の改善に有効であり推奨される.
の
「推奨プレート A
14章 糖尿病に合併した高血圧
- CQ14-3: 大血管症の発症予防に血圧を 130/80 mmHg 未満にコントロールすることが有
か?
●心血管イベントおよび脳卒中の発症予防には診察室血圧 130/80 mmHg 未満を目標とし
降圧療法が推奨される.
·······[推奨グレード A
CQ14-4:ACE 阻害薬・ARB はアルブミン尿のない糖尿病に合併した高血圧の降圧療法での
一選択薬か?
●アルブミン尿のない糖尿病合併高血圧患者における降圧薬の第一選択薬としては, ACE
害薬,ARB のみならず,カルシウム拮抗薬,サイアザイド系利尿薬がいずれも推奨され
15 章 糖尿病に合併した脂質異常症
CQ15-4:食事療法は糖尿病患者の脂質異常症に有効か?
●糖尿病患者の脂質異常症に対して食事療法が推奨される.
②一価・多価不飽和脂肪酸と食物繊維の摂取や適正なエネルギー制限が推奨される.
[推奨グレード A
CQ15-5:運動療法は糖尿病患者の脂質異常症に有効か?
●糖尿病患者の脂質異常症に対して有酸素運動やレジスタンス運動が推奨される.
CQ15-6:糖尿病患者の脂質異常症に対するスタチンによる治療は,大血管症発症率や生命
後の改善に有効か?
●薬物療法に関して,スタチンの投与は高 LDL-C 血症を合併した糖尿病患者の心血管疾患
発症を抑制し生命予後を改善することから,スタチンを第一選択とする.

CQ15-7:糖尿病患者において,スタチン以外のコレステロール低下薬(エゼチミブ,PCSK9 阻
害薬,レジン,プロブコール)による治療は,心血管疾患の発症率や生命予後の改善に有効
か?
●高 LDL-C 血症を有する糖尿病患者では,スタチンへのエゼチミブ追加投与は心血管疾患の
発症を抑制し得ることから,スタチンへのエゼチミブ追加投与を考慮してよい.
❷脂質異常症,動脈硬化性疾患を合併するスタチン投与中の糖尿病患者では,PCSK9阻害薬
の投与により心血管疾患の発症を抑制し得ることから,PCSK9 阻害薬の投与を考慮してよ
U).
CQ15-8:高 TG 血症あるいは低 HDL-C 血症を合併する糖尿病患者において,フィブラート系
薬,SPPARMα,ニコチン酸誘導体,n-3 系多価不飽和脂肪酸による治療は心血管疾患の発
症率や生命予後の改善に有効か?
●高 TG 血症または低 HDL-C 血症を合併する糖尿病患者において,フィブラート系薬・EPA
の投与は,心血管疾患の発症抑制に寄与し得る.
16章 糖尿病と歯周病
16 章 糖尿病と歯周病 CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か?
CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か?
CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される.
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2 型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される
CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される.
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2 型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか?
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する.
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A]
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-2: 妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか?
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-2: 妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●糖代謝異常を有する妊婦への妊娠中の血糖コントロール強化介入は、母児の予後を改善する.
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-2: 妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●糖代謝異常を有する妊婦への妊娠中の血糖コントロール強化介入は、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-10: 妊娠糖尿病既往女性の産後の糖代謝異常の評価はどのように行うか?
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2 型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17 章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1 型・2 型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-2: 妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●糖代謝異常を有する妊婦への妊娠中の血糖コントロール強化介入は、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] 「推奨グレード A]
CQ16-3: 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1: 妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-2: 妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●糖代謝異常を有する妊婦への妊娠中の血糖コントロール強化介入は、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-10: 妊娠糖尿病既往女性の産後の糖代謝異常の評価はどのように行うか?
CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. 「推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1:妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. 「推奨グレード A] CQ17-2:妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●糖代謝異常を有する妊婦への妊娠中の血糖コントロール強化介入は、母児の予後を改善する。. 「推奨グレード A] CQ17-10:妊娠糖尿病既往女性の産後の糖代謝異常の評価はどのように行うか? ●妊娠糖尿病既往の女性において、産後6~12週に糖代謝異常評価のために75g OGTT を
 CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. [推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1:妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する.
 CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. 【推奨グレード A] 17章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1:妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1型・2型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する.
CQ16-3:歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か? ●2 型糖尿病において歯周治療は血糖コントロールの改善に有効であり推奨される. 「推奨グレード A] 17 章 妊婦の糖代謝異常 CQ17-1:妊娠前の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●1 型・2 型糖尿病患者における妊娠前血糖コントロールは、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-2:妊娠中の血糖コントロールは妊婦や児の予後を改善するか? ●糖代謝異常を有する妊婦への妊娠中の血糖コントロール強化介入は、母児の予後を改善する. [推奨グレード A] CQ17-10:妊娠糖尿病既往女性の産後の糖代謝異常の評価はどのように行うか? ●妊娠糖尿病既往の女性において、産後6~12 週に糖代謝異常評価のために 75g OGTT を行い、糖尿病と診断されなかった女性については、その後も定期的に糖代謝異常の評価を行うことが強く推奨される. [推奨グレード A]

CQ17-11:妊娠糖尿病既往女性において,2型糖尿病発症予防はどのように行うか?
●妊娠糖尿病既往の女性に対し、2型糖尿病発症予防のために、生活習慣介入が有効である
❷妊娠糖尿病女性において、女性の2型糖尿病発症予防目的に、母乳哺育を実施することだ
有効である.
18 章 小児・思春期における糖尿病
CQ18-4: 小児・思春期 1 型糖尿病での持続皮下インスリン注入療法は,インスリン頻回注射
法に比べて血糖コントロールにより有効か?
●小児・思春期 1 型糖尿病では、インスリン頻回注射法に比べ、低血糖の頻度を増加させる
に血糖コントロールが改善することから,CGM に連動しない持続皮下インスリン注入療
法を考慮してよい.
·······_[推奨グレード B]
②小児・思春期1型糖尿病では、インスリン頻回注射法に比べ、低血糖の頻度を増加させる
に血糖コントロールが改善することから,CGM に連動する持続皮下インスリン注入療法
が推奨される.
CQ18-6:血糖降下薬(インスリンを除く)は小児・思春期2型糖尿病の血糖コントロールに有
効か?
●小児・思春期 2 型糖尿病においてメトホルミンは体重増加を伴わず血糖コントロールに有
効であることから推奨される.
·······_[推奨グレード A]
19章 高齢者の糖尿病 (認知症を含む)
CQ19-3:高齢者糖尿病の血糖コントロールは血管合併症の発症・進行抑制に有効か?
●高齢者においても高血糖や低血糖は血管合併症の発生と関係があり、低血糖予防に十分配
慮しながら適切に高血糖是正を行うことは血管合併症の発症・進行の抑制に寄与し得る.
CQ19-6: 高齢者糖尿病において運動療法は血糖コントロールや ADL, 認知機能の維持に有效
か?
●高齢者糖尿病において,運動療法は血糖コントロールや ADL,認知機能の維持のために推
奨される.

● 前-40 ●

20章 糖尿病における急性代謝失調・シックデイ(感染症を含む)

※CQ なし

21章 2型糖尿病の発症予防

CQ21-9:生活習慣介入によって2型糖尿病の発症は抑止できるか?

●食事や運動習慣の是正を中心とした生活習慣介入は、2型糖尿病の発症を減少させ、その効果は介入終了後も持続するため生活習慣の改善が推奨される.